

令和4年度 第1回 「知事と語る やまなしづくり」結果概要

対話テーマ: 頑張る外国人の思い!

県では、本県が目指すべき姿「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向けて、知事が直接、幅広い層の県民と意見交換をすることで、県民が抱えている課題を把握し、その解決や新たな施策の立案等に生かしていきたいと考えています。

今回は、外国人住民の皆様と現状や課題について意見交換を行いました。

【日時場所】 令和4年10月20日(木) 午後4時00分から 県庁防災新館4階401・402会議室

【対話相手】 10名

(主な意見等)

- 長く山梨県内で勉強したおかげで暮らしやすさを感じた。ただ、役所から情報を得る方法が分からなかったり、専門知識に対応するような仕事を見つけるのが難しい課題もある。
- 保育において様々な国籍の子どもとやさしい日本語を使ったコミュニケーションなど工夫をしている。国籍関係なくありのままにいられるような場所がもっと増えればいい。
- 日本語が話せない母親に対して妊娠・出産・保育のサポートが出来ればと考えている。日本で長く働けないのは、保育園の入所や難しい医療用語の面も理由にもなっている
- 高齢者が病院へ通っても言葉が通じないなどの問題がある。年に1度の無料の弁護士相談は非常にありがたいが、どこかで常時相談出来る場所があると更にありがたい。
- 日本語でのコミュニケーションは小学生レベルの方もいるので、分かりやすい日本語での説明や書類作成をお願いしたい。観光面においてSNS等の情報発信もお願いしたい。
- コミュニケーションが難しいので仕事を断られるケースもあるので、通訳を通してでも雇用してもらえるような会社が増えたらいい。
- 外国人が頑張るのは宿命だと思っている。頑張り続けることで、県政にも要望も届くし県からも目を配ってもらえると考えている。
- 病院やハローワークが英語を使ったり漢字へのふりがなを使うことで医療を受けたり介護の仕事への就職につながると思う。また災害時の訓練も外国人への配慮をお願いする。
- 日本人と話したいのに話す場がわからない方やイベント情報を共有したのに場所がなかったりする。もう少し外国人にフォーカスした団体があればと思っている。
- 情報収集はSNSが多い。グループを作ってそこでイベントや保育の情報交換をしている。

(知事(県)の主な発言)

- 県では「多文化共生社会実現構想」をつくり、外国からお越しの住民の皆さんには地域の一員としてともに暮らしていける社会を目指している。
- 保育にとどまらず、様々な出会いからコミュニティができていくのは素晴らしいと感じており、県としてもそのような仕組みを広げていきたいと思う。
- 妊娠・出産や行政からの通知など、コミュニケーションの取り方が不親切だなと感じた部分もあったので、通訳サービス・SNSの利用も含め市町村さんとも考えていきたい。

